
水戸黄門が最終回（ライス1000）

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

水戸黄門が最終回（ライス1000）

【Nコード】

N1678BA

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

1000字設定。微妙にエロいんで15禁にしてみました。

水戸黄門が本日最終回である。が、まあそのことはどうでもよい。関係ない。今日、スーパーバイトの帰り道、静かな道を歩いていた。孤独感に浸り落ち着いて歩いていた。すごく静か。夜だった。いい感じだった。わびさびを感じながら歩いていた。しかし、車が走ってきたんで雰囲気がち壊し。ドリンクバーで友達にいたずらされた感じだ。レモンスカッシュにコーヒを混ぜられた感じだ。イライライライラしてしまって、車をハンマーで叩き壊したかった。それが爆弾で木っ端微塵にしたかった。無論、リアルに客観的にいうと、車に罪はない。道路を車が走ってはいけないという法律はない。それはあくまで合法である。日本国憲法では認められている。しかし、車というのは正社員の象徴である。車は所得額の高い正社員のシンボルだ。われらアルバイトは常に正社員から不当に利益を奪われてたからついイラっときてしまうのだ。所得格差ははやく解決してほしい。民主党は速く速く動いてほしい。起きてほしい。速くベッドから出て働いてください。お願いします。働いてください。

それとはかくとしてやはり水戸黄門に戻る。車の話をしているとイライラしてくる。今、水戸黄門を録画中でほかの番組が観られない。おかんが録画していった。水戸黄門はなぜ退屈なのだろう。そして人気があるのだろうか。不思議だ。そして、筒井康隆はなぜ面白いんだろう。そして人気がないんだろう。不思議だ。似たことは非正規雇用問題にもいえる。なぜアルバイトは一生懸命働いているのに貧困に苦しまないといけないのか。正社員は怠けているのに贅沢ができるのか。不可解だ。

それとはかくとして、オレは原稿用紙に書き続ける。非正規問題を考えるとイライラしてくる。考えるのはやめよう。ともかくパソコンが主流の世の中であるが手書きの方が労働したという気に

なる。

しばらくして疲れてきたので、ケータイで華子を呼ぶ。

布団を敷く。「はやく来ないかなあ」

華子の裸を想像して鼻血が出る。オレは下半身を眺める。下半身には格さん助さんご老公がいる。

ご老公が大きくなればいいのだ。格さん助さんは必死になって精子を作る。

華子は悪い代官だ。懲らしめないといけない。

かわいい代官だ。好きだ。華子が好きだ。

水戸黄門は最終回になったが、オレたちの物語は始まったばかり。

窓を見ると、雪が降っている。これは寒くなるぞ。

でも、二人で動けば、あたたかくなるだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1678ba/>

水戸黄門が最終回（ライス1000）

2012年1月4日08時45分発行